

2024 年 11 月 5 日

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の検出について_第 2 報

当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）※¹について、ご報告いたします。
現在、スクリーニング検査の対象範囲を拡充しつつ、院内での感染対策強化に取り組んで
おります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、今後の経過につきましても、当院ホームページにおいて随時報告してまいります。

記

- ・検出された患者数※² 10 症例（保菌者 10 症例、感染者 0 症例）
ただし、うち 3 名は当院入院前から保菌の可能性があります

医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院 病院長

【お問合せ】 本件についてのお問合せは、事務長・下澤までメールにて
お願いします。

メールアドレス kazumoto.shimosawa@tokushukai.jp

+++++

※ 1 CRE につきましては下記囲み枠もご参照ください。

○カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）

- ・抗菌薬が効きにくい細菌（薬剤耐性菌）の一種。カルバペネム系抗菌薬に耐性を示します。このうち、カルバペネムを分解する酵素（カルバペネマーゼ）を産生する腸内細菌目細菌をカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（CPE）といいます。今回はこの CPE を対象としています。
- ・腸内細菌目細菌は、大腸菌などと同じく腸内等に保菌されている状態では病気の原因にならず治療は必要ありません。膀胱や腎臓、胆のうなどでは病気を引き起こすことがあります。
- ・CRE が原因となって感染症を発症した場合は、有効な抗菌薬が限られるので治療が難しくなる可能性があります。

※ 2 該当する症例の定義は次のとおりです。

「2024 年 6 月 8 日から 2024 年 10 月 31 日までに採取された検体から、初めて CRE が分離され、当該分離菌がカルバペネマーゼ陽性と確認された患者」